

学習の基盤となる資質・能力

木原小

学習指導要領（平成 29 年告示）総則編には、「各学校においては、児童の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。」と示されています。

表に示す言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力については、すべての学習の基盤となる資質・能力です。具体を確認するとともに、それぞれの教育活動を行う際に、これらの力の育成ができる構成、内容となるよう、工夫してください。

資質・能力	具体
言語能力	<ul style="list-style-type: none">・言葉の働きや役割に関する理解・言葉の特徴やきまり、使い方に関する理解と使い分け・言葉によって感じたり想像したりする力・感情や想像を言葉にする力・言葉を通じて伝え合う力・言葉を通じて、自分のものの見方や考え方を広げ、深めようとする態度 等
情報活用能力	<ul style="list-style-type: none">・情報と情報技術を活用した問題の発見・解決方法等について、情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解すること・情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能・様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見出す力・問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力・情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画する態度 等
問題発見 ・解決能力	<ul style="list-style-type: none">・物事の中から問題を見出す力・問題を定義し、解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立てる力・結果を予測しながら実行する力・実行した結果をもとに、振り返って次の問題発見・解決につなげていく力 等

参照：小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編
中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編